



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	2012年度北方研究教育センターの活動
Citation	北方人文研究, 6, 177-179
Issue Date	2013-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/52622
Type	other
File Information	jcnh06-12-CNH.pdf



〈報 告〉

2012 年度北方研究教育センターの活動

1. 北方研究教育センター主催サイエンスカフェ「ツンドラカフェ」

(1) 第 6 回ツンドラカフェ「ソ連のプーさん—ちょっと懐かしいロシアアニメの世界—」

大川 良輔（北海道大学大学院文学研究科博士号候補生）

2012 年 5 月 26 日（土）14:00-15:30

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517

後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

(2) 第 7 回ツンドラカフェ「沈黙の詩人の饒舌—石原吉郎の見たシベリア—」

根本 萌（北海道大学大学院文学研究科修士課程）

2012 年 7 月 28 日（土）14:00-15:30

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517

後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

第 6 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ

ツンドラカフェ
ソ連のプーさん
— ちょっと懐かしいロシアアニメの世界 —

話し手 大川良輔さん
(北海道大学大学院文学研究科博士号候補生)



ソ連時代に制作された「雪の女王」「森は生きている」などのアニメは1970年代の日本のテレビでも紹介され、日本のアニメにも影響を与えてきました。サンクト・ペテルブルグ留学中にロシアアニメの魅力にとりつかれた大川さんが、その歴史や楽しみ方についてお話しします。日本未公開のソ連版くまのプーさん(日本語字幕つき)上映あり。

2012年5月26日(土) 14:00-15:30

会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517
定員 30名 (申し込み不要です)
主催 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター
後援 北海道大学アイヌ・先住民研究センター
連絡先 cnh-office@let.hokudai.ac.jp
<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/framepage1.html>



第 7 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ

ツンドラカフェ
沈黙の詩人の饒舌
— 石原吉郎の見たシベリア —

話し手 根本 萌 さん (北海道大学大学院文学研究科修士課程)



1950年代から1970年代にかけて活躍した石原吉郎の作品は、「奇想天外」「解読不能」と評され、戦後現代詩の世界で独特な存在感がありました。「詩は『沈黙するための』ことばである」と定義した石原はデビュー後15年を経て自らのシベリア抑留体験を語りはじめました。石原が見たシベリアとは何だったのか、大学院で文学を研究している根本さんが解説します。

2012年7月28日(土) 14:00-15:30

会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517
定員 30名 (申し込み不要です)
主催 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター
後援 北海道大学アイヌ・先住民研究センター
連絡先 cnh-office@let.hokudai.ac.jp
<http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/framepage1.html>



(3) 第8回ツンドラカフェ「記憶と空間—ノーベル賞作家ブーニンの初期作品をめぐって—」

石原 遼平(北海道大学大学院文学研究科修士課程)

2012年12月15日(土) 14:00-15:30

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517

後援: 北海道大学アイヌ・先住民研究センター／

北海道大学スラブ研究センター

2. 北方研究教育センター主催談話会・講演会

(1) 「北方言語は南方言語となぜ違うのか」

時崎 久夫(札幌大学外国語学部教授)

2012年7月13日(金) 16:30-18:00

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W202

第8回北方研究教育センター
サイエンスカフェ
ツンドラカフェ
記憶と空間
—ノーベル賞作家ブーニンの初期作品をめぐって—
話し手 石原 遼平さん(北海道大学大学院文学研究科修士課程)



イヴァン・ブーニン(1870-1953)はロシア革命後の1920年にフランスに亡命し、1933年にロシア人として初のノーベル文学賞を受賞しました。彼はロシア文学の伝統を継承しつつも、従来の理想化されたロシア農村像を打ち砕く作品でセンセーションを巻き起こしました。大学院でロシア文学を専攻している石原さんがロシアの写真を交えながらブーニンの魅力を紹介します。

2012年12月15日(土) 14:00-15:30

会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517
定員 30名(申し込み不要です)
主催 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター
後援 北海道大学アイヌ・先住民研究センター
北海道大学スラブ研究センター
連絡先 cnh-office@let.hokudai.ac.jp
http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/framepage1.html

参加無料

(2) 「カムチャツカ考古学の最前線」

アンドレイ・V・プタシンスキー(国立カムチャツカ大学社会経済学部准教授)

[ロシア語による講演(逐次訳あり)]

2013年2月8日(金) 18:00-19:15

北海道大学・文系6番教室

主催: 北海道大学大学院文学研究科北方文化論講座／北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

参加無料
北方研究教育センター談話会
北方言語は南方言語と
なぜ違うのか
講師 時崎 久夫 教授(札幌大学外国語学部)



北方言語は、南方言語とは異なる音韻的・形態的特徴を持っているように見える。その違いを World Atlas of Language Structures のデータで示し、音韻と形態統語が相関して地理的に変化する可能性を探る。さらに、音韻的な強位置のパラメータが、音節構造・膠着性・複合語・主部と補部の語順など、その他の音韻的・形態的特徴を決定しているという仮説を提示し、その妥当性を検討する。

2012年7月13日(金) 16:30-17:00

会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W202
定員 80名(申し込み不要です)
主催 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター
連絡先 cnh-office@let.hokudai.ac.jp
http://www.hucc.hokudai.ac.jp/~b20232/framepage1.html

の
日
取
最
前
線
カム
チャ
ツカ
考古
学
の
最
前
線



日本列島よりも広い面積をもつロシア・カムチャツカ半島。カムチャツカ在住の唯一の考古学研究者 A・V・プタシンスキー氏をお招きし、ウシム半島を除く以外の旧石器時代の発見、発掘者自身による DNA コーディングの解説など、考古学研究の最新情報を紹介いたします。

どなたでも参加いただける公開講演会ですので、興味のある方は是非おいでください。

Frontiers of Archaeology in the Kamchatka Peninsula

2013年2月8日(金) 18:00~19:15
北大・文系6番教室(文学部と法学部の間の廊下)
ロシア語による講演(逐次訳あり)

2013年2月 北海道大学大学院文学研究科北方文化論講座 公開講座
T: 011-756-4091 (直通) E-mail: hokan@let.hokudai.ac.jp
【主催】 北海道大学大学院文学研究科北方文化論講座・北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター
【後援】 日本学術振興会(学術振興会)・学術振興会(学術振興会)・学術振興会(学術振興会)

3. 移動写真展

北海道立北方民族博物館 移動展「北にくらす子どもたち」写真展

2012年4月23日(月)～5月18日(金)
10:00-20:00(平日のみ、最終日は15時まで)
北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」ギャラリー

主催：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター／北海道立北方民族博物館 共催
後援：北海道大学総合博物館



4. その他後援事業など

「北東ユーラシア地域における社会主義体制下のライフヒストリー研究 セミナー：言語学者によるライフヒストリー資料採録」

2012年11月21日(水) 15:00-17:30

スラブ研究センター小会議室

「ウデへ人教師の自伝出版への道のりとその後」

津曲 敏郎 (北海道大学大学院文学研究科教授)

「あるサハ語教師のライフヒストリー」

江畑 冬生 (日本学術振興会特別研究員／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

主催：北海道大学スラブ研究センター (平成24年度公募型共同研究プロジェクト)

後援：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

